

2014年度の参加職員37名（※）に対するアンケート結果

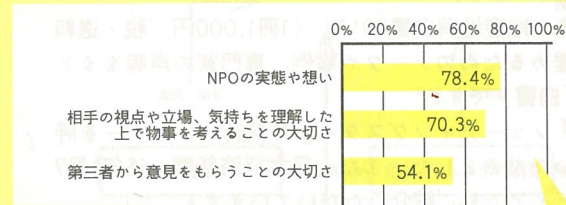
※属性は下記の通り。

①男女比：男性「33名」、女性「4名」

②勤続年数：10年以内「26名」、11年以上「10名」、21年以上「1名」

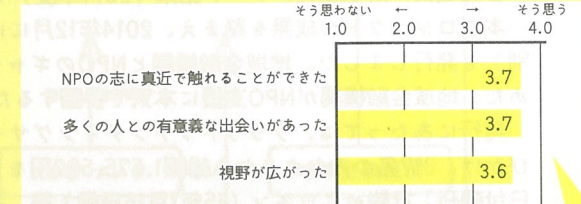
③参加動機：NPOを知りたい「11名」、スキルアップ「9名」、地域貢献「8名」、誘われて「4名」、より深く関わりたい「2名」、その他「3名」

(1) 参加しての気づきや学び



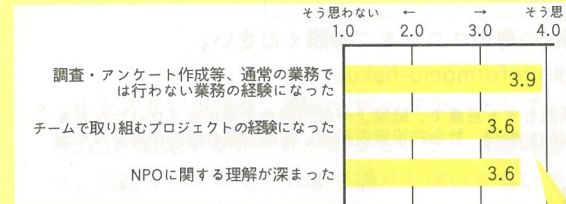
NPOの実態や想いなどを学んだほか、相手の視点に立つ事や第三者からの意見についての大切さを学んだという声もあります。

(2) プロボノを通して個人に起こった変化



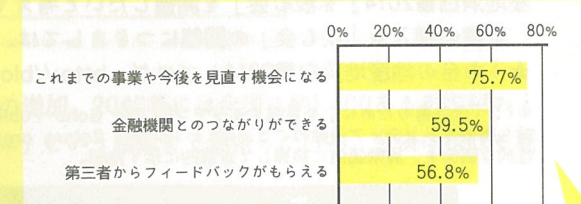
NPOの志に触れた、有意義な出会いがあった、視野が広がったなどの意見が多く、新しい世界に触れるキッカケとなったことがうかがえます。

(3) プロボノを通して参加職員の業務面に起こった変化



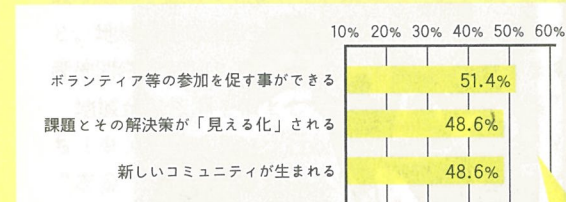
ほとんどの方が通常行わない業務や、チームプロジェクトの経験になったと回答しています。NPOへの理解も深まったようです。

(4) 参加NPOにとってのプロボノの意義や価値



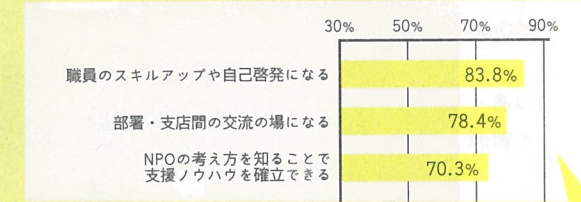
事業を見直す好機と答えた方がほとんど。金融機関とのつながりができたことや第三者の視点が良かったとしています。

(5) 地域にとってのプロボノの意義や価値



約半数がボランティアとしての参加につながるとし、課題が明らかになることや、コミュニティ形成への意義が挙げられています。

(6) 瀬戸信用金庫にとってのプロボノの意義や価値



スキルアップや自己啓発、ノウハウの確立が上位。また、多くが組織内交流にもなると感じているようです。